

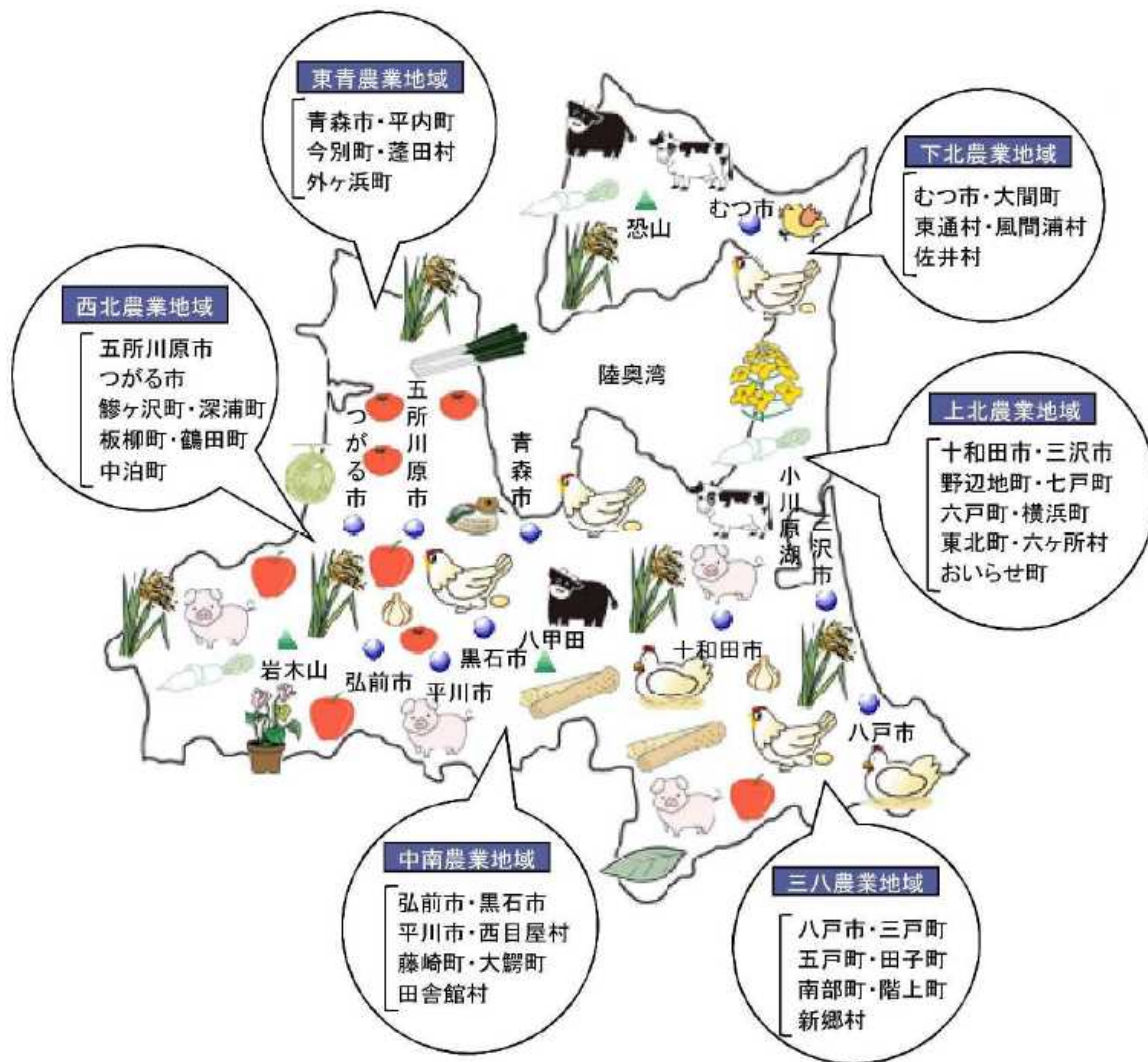
青森県における普及指導活動の体制

1 地域別農業の概要

地域別の農業産出額は、東青・中南・西北農業地域では、米とりんごが上位を占め、特に中南農業地域は、世界でも有数のりんごの一大産地を形成している。

また、三八・上北・下北農業地域では、野菜、畜産が重要な地位を占めている。

県全体の産出額の作目別構成比は、多い順に、畜産、りんご主体の果実、野菜、米で、バランスが取れた構成となっている。



地域別農畜産物算出額上位品目 (H30年)

順位	県計	東青	中南	三八	西北	上北	下北
1	野菜	米	果実	野菜	米	野菜	野菜
2	果実	果実	米	プロイラー	果実	豚	肉用牛
3	米	野菜	野菜	鶏卵	野菜	肉用牛	生乳
4	肉用牛	鶏卵	—	果実	豚	米	—
5	豚	—	—	米	—	鶏卵	—

資料：生産農業所得統計

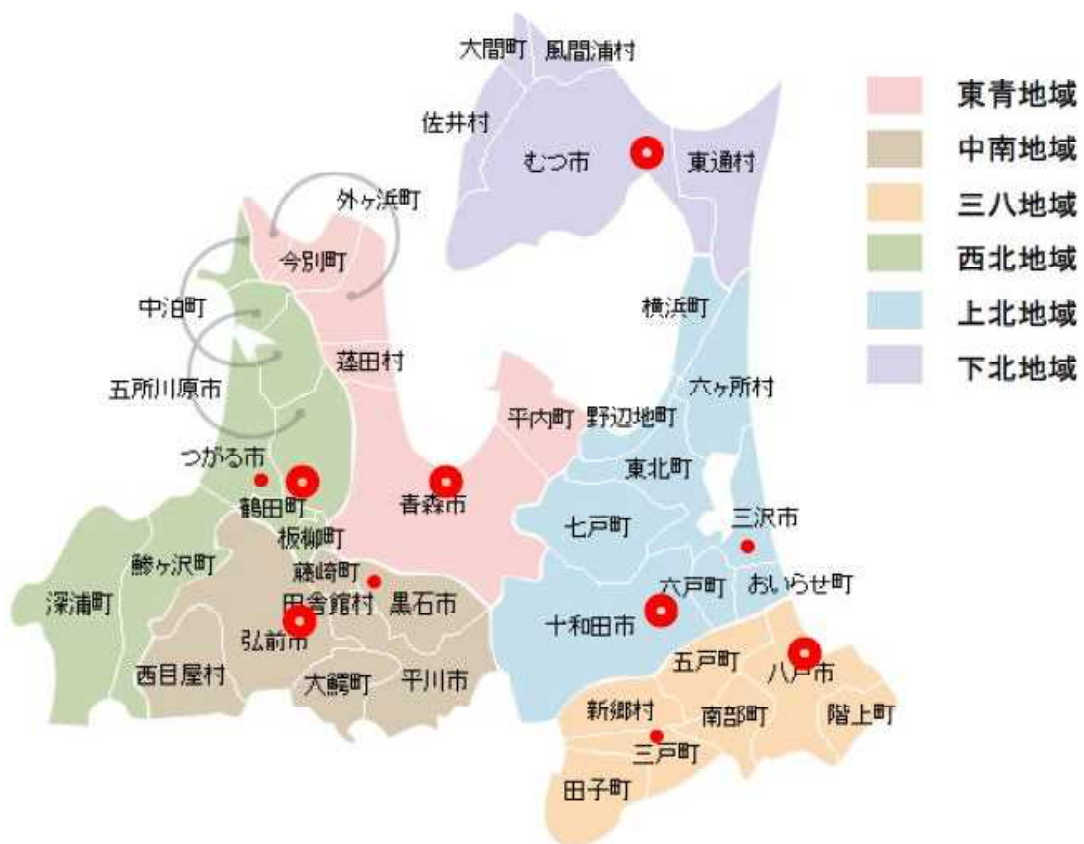
2 普及指導の組織体制

(1) 農業普及振興室の設置

県内6か所の地域県民局地域農林水産部に「農業普及振興室」を設置し、農業者等の利便性を考慮し、黒石市、三戸町、つがる市、三沢市の4か所に分室を配置している。

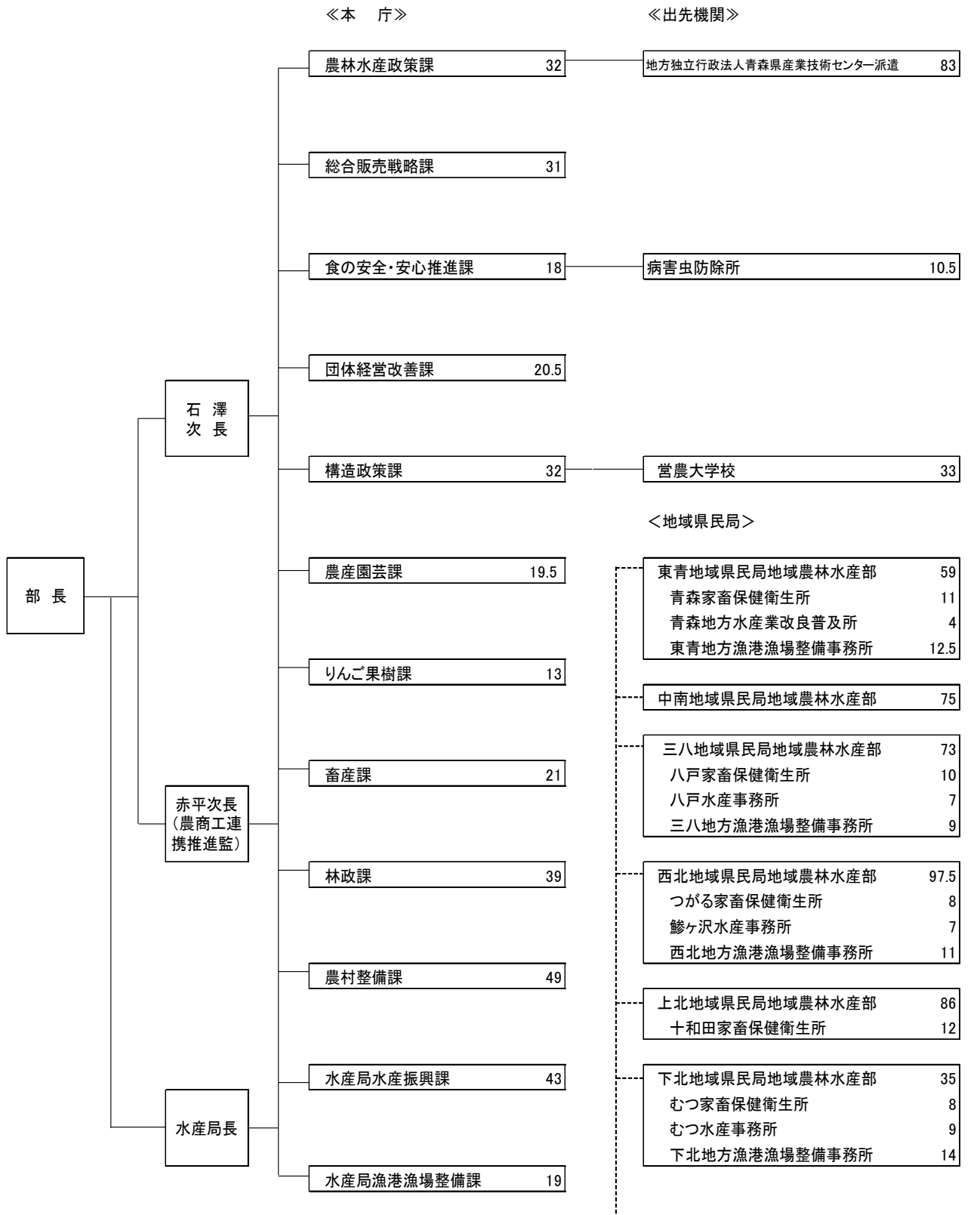
(2) 農業革新支援センターの設置

農林水産政策課内に農業革新支援センターを設置し、土地利用型作物、野菜、果樹、経営、農山漁村女性活動を主担当とする5人の農業革新支援専門員を配置している。



(3) 農林水産部の組織体制

(R2.4.1)

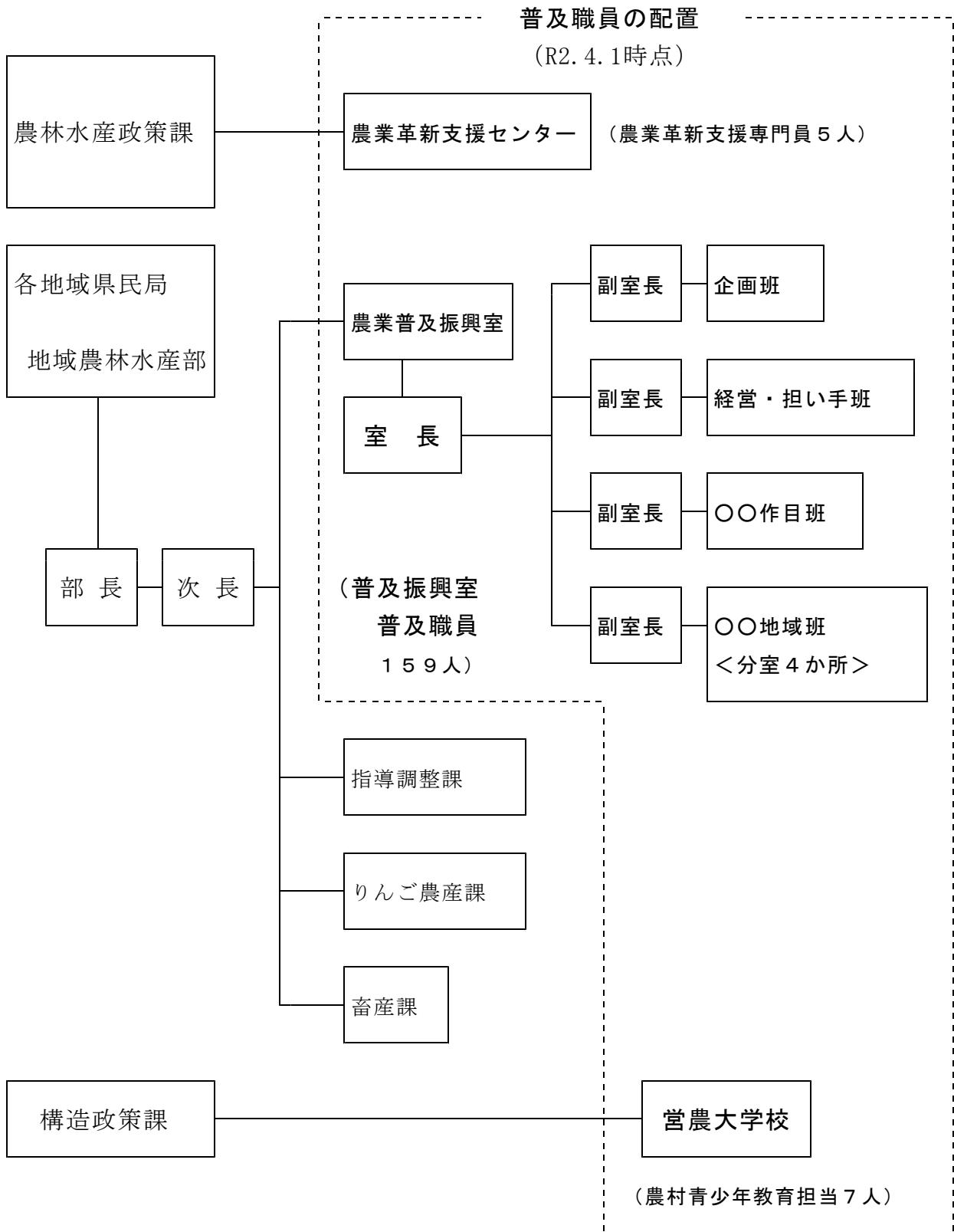


本庁 341.0 人

出先 674.5 人

農林水産部 合計 1,015.5 人

(4) 普及部門の組織体制



2 普及職員の設置状況

(1) 普及職員1人当たり農業産出額及び販売農家数の東北各県等との比較

(単位：億円、戸、千ha、人)

区分	農業 産出額 (A)	販売 農家数 (B)	耕地 面積 (C)	普及 職員数 (D)	普及職員1人当たり		
					農業産出額 (A/D)	販売農家数 (B/D)	耕地面積 (C/D)
青森県	3,222	34,866	149.8	171	18.8	203.9	0.88
岩手県	2,727	45,254	149.5	199	13.7	227.4	0.75
宮城県	1,939	37,533	125.8	154	12.6	243.7	0.82
秋田県	1,843	37,810	146.7	108	17.1	350.1	1.36
山形県	2,480	32,355	116.9	137	18.1	236.2	0.85
福島県	2,113	52,270	138.4	245	8.6	213.3	0.56
東北計	14,325	240,088	827.1	1,014	14.1	236.8	0.82
全国計	91,283	1,329,591	4,372.0	7,269	12.6	182.9	0.60

資料 農業産出額：H30生産農業所得統計

販売農家数：2015年農林業センサス

耕地面積：R2耕地面積統計（7月15日現在）

普及職員数：R2普及事業活動体制調査

（実務経験中職員及び農村青少年教育担当を含む）

(2) 本県における普及職員の動向

行財政改革等により全国の普及職員や県の行政職員が減少しており、普及職員数も同様に減少傾向にあり、平成26年と対比して95.0%の171人となっている。全ての地域で減少し、特に西北の減少割合が高い。

(単位：人、%)

地 域 名	H26	R2 (R2. 4. 1現在)	普及職員増減割合 (R2/H26)
東 青	23	22	95.7
中 南	34	32	94.1
本 室	27	26	96.3
黒石分室	7	6	85.7
三 八	26	25	96.2
本 室	21	20	95.2
三戸分室	5	5	100.0
西 北	36	32	88.9
本 室	24	23	95.8
つがる分室	12	9	75.0
上 北	36	35	97.2
本 室	30	29	96.7
三沢分室	6	6	100.0
下 北	14	13	92.9
農林水産政策課 (農業革新支援専門員)	5	5	100.0
営農大学校 (農村青少年教育担当)	6	7	116.7
県 計	180	171	95.0
全 国 計	7,367	7,269	98.7
<参考> 県行政職員	3,931	3,806	96.8

※1 基準年は県の行財政改革実施計画（H26.3月）の策定年度とした。

※2 普及職員数は普及指導員と実務経験中の職員の合計

3 職員の資質向上の取組状況

普及指導員の能力を継続的に向上させ、長期的な視点から普及事業に必要な人材を育成するために、目指すべき人材像や求められる資質、人材育成に向けた取組方針等を記載した「青森県普及指導員人材育成計画」を平成28年2月に策定した。

また、普及指導員に求められる高度・先進的な技術指導能力及び地域農業の課題解決能力を強化するため、毎年度、「普及指導員研修実施計画」を策定し、職員個々の能力や研修に対するニーズを把握しながら、国及び県段階の研修等を効果的に組み合わせ、資質向上を図っている。

(1) 令和2年度研修実施計画を見直した事項

県が実施する研修に、若手普及職員を対象とした「専門指導力養成研修」及び「普及手法研修」を新たに設け、現場での実践能力の習得を図るとともに、様々な普及手法を学ぶ機会を増やした。

(2) 県が実施する研修（農林水産政策課が実施する研修）

ア 集合研修

研修名	内容	期間 (日)	人数 (人)	対象者	出席者 (実人数)	
					R2	R1
新任者基礎研修	<ul style="list-style-type: none"> ・「攻めの農林水産業」と普及指導員の役割【講義】 ・協同農業普及事業の概要と普及指導活動の基本【講義】 ・普及指導員資格試験対策【講義】 	1日	配属者数	普及職員1年目の者	5	6
普及指導員養成研修	<ul style="list-style-type: none"> ・普及指導員資格試験対策【講義、演習】 ・普及指導活動の進め方【講義、演習】 ・論文作成及び添削指導【演習（随時）】 ・普及指導員資格試験【受験】 	6日	—	普及職員2年目以降の普及指導員資格未取得者	18	22
農業経営基礎研修	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の基礎【講義、演習】 ・経営分析手法の基礎知識【講義、演習】 	3日	—	普及職員2年目の者等	9	17
専門指導力養成研修	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営、青年農業者育成、農山漁村女性活動・農産加工、土地利用型作物、野菜、花き、果樹、畜産、普及指導活動の専門ごとに基礎知識や課題解決能力の向上のための研修を実施【講義、演習等】 ・研修対象者に対する、担当革新支援専門員の設置 	専門ごとに2日程度	—	普及職員概ね5年以下の者	21	—

研修名	内容	期間 (日)	人数 (人)	対象者	出席者 (実人数)	
					R2	R1
普及手法研修	・各地域農業普及振興室等 取り組んでいる優良普及指導 活動から普及手法を学ぶ【事 例研究】	1日	—	普及職員概 ね10年以下 の者	25	—
専門技術強化研 修	・専門指導力養成研修の専門 ごとに課題解決のための研修 を実施【講義、演習等】	専門 ごと に3 日程 度	—	普及職員	83	129

イ 派遣研修

研修名	内容	期間 (日)	人数 (人)	対象者	出席者 (実人数)	
					R2	R1
農家派遣研修	先進的農業者での農業及び生 活体験【実習】	20日 程度 (2週 間× 2回)	—	原則として 県職員採用 5年未満で 普及職員1 年目の者	6	4
専門技術向上研 修	部門別の基礎技術・知識の習 得【講義、実習等】	20日 程度 (2週 間× 2回)	配属 者数	普及職員2 年目の者 (試験研究 機関等にお いて実務経 験のある者 を除く)	5	9
農業経営アドバ イザー研修	農業経営アドバイザー資格取 得に向けた研修【講義、演習】	7日	1	経営改善支 援担当者	—	1
担い手育成研修	全国青年農業者育成研究集会 等への派遣【講演、分散会】	2日	3	担い手育成 担当者	—	1

ウ 農業普及振興室が実施する研修

研修名	内容	期間 (日)	人数 (人)	対象者	出席者 (実人数)	
					R2	R1
新任普及職員OJ T研修	普及指導員をトレーナーとするOJ T方式で普及活動手法を習得【OJ T研修】	—	—	新任普及職員	11	14
現場ニーズ対応企画研修	地域の課題解決のための県外先進地の調査・分析【事例調査】	1～2	12名程度	普及職員	—	4

県が実施する研修 出席者合計	183	207
----------------	-----	-----

※ R2年度出席者は、11月末現在

(3) 国等が実施する研修

研修名	内容	期間 (日)	人数 (人)	対象者	出席者 (実人数)	
					R2	R1
普及指導員養成研修Ⅱ（経験者コース）	普及指導員の役割・目的意識の醸成等、協同農業普及事業全般の知識の習得	3	50	普及組織に所属後、2、3年目の普及職員等	3	9
新任農業革新支援専門員研修	農業革新支援専門員の役割、目的意識の醸成と業務推進方法の習得	2	40	新任の農業革新支援専門員	1	1
普及指導員実務能力習得研修Ⅱ（課題発見力向上コース）	地域・農業者等が抱える課題の把握及び農業者等の行動を促すために必要な手法の習得	2	40	普及指導経験がおおむね3年以上の普及指導員	1	—
野菜生産体制強化支援研修	野菜の高品質化、生産の省力化、産地形成に等に資する知識・技術の習得	2	30	地域において野菜指導の中心的役割を担っている又は今後担っていく普及指導員	1	—

※1 R2年度は7月までに実施予定の研修は全て中止。以降はリモート形式で受講

※2 R2年度出席者は、11月末現在

国等が実施する研修 出席者合計	6	18
-----------------	---	----